

信楽焼酒器と近江の地酒を紹介する展示が陶芸の森の信楽産業展示館で4月4日から始まりました。

趣きのある信楽焼の盃、ぐい呑み、徳利と滋賀の清水で造られた地酒が広い展示スペースに数多く揃えられ、自分好みの器と酒器の組み合わせをじっくり考えながら見て回ることが出来ます。

市外から訪れたというご夫婦も、酒器を手に取りながら、信楽焼の風情と地酒の香味に心ひかれていました。

この展示は5月6日まで行われており、土日限定で滋賀の蔵元による試飲即売会が行われます。



▲自分好みの酒器を探す来場者

3 news

信楽焼で近江の地酒を

展示会「ほろ酔いつつわと地酒展」

1 news

ビー玉の迷路作り

わくわく☆チャレンジクラブ

小学生を対象にした「わくわく☆チャレンジクラブ」が4月11日、かえで会館で開かれました。今回は「ビー玉の迷路作り」で、8人の児童が参加しました。

「迷路」は段ボールやストローなどから作られ、スタートに置いたビー玉を、手に持った「迷路」を傾けて転がすことでゴールを目指します。

落とし穴やトンネルを設置するなど、子どもたちそれぞれのアイデアが詰まった作品が完成し、ビー玉がうまく転がると笑顔がはじけました。



▲アイデアを出し合いながらの迷路作り

2 news

桜のいろんな楽しみ方

咲くや鮎河さくらまつり

市内の代表的な桜の名所、うぐい川河畔で4月11日と12日に「咲くや鮎河さくらまつり」が催されました。

桜の下には多くの人々が集まり、それぞれに桜を楽しみました。お弁当を広げる家族連れ、ござを敷いて大勢で花見を楽しむ人々、ギターと共に合唱するグループが桜色に染まった河畔に彩りを添えました。

両日ともに天気恵まれ、出店では地酒や餅といった地域の名物も販売され、鮎河は多くの観光客で賑わいました。



▶桜色に染まったうぐい川

4 news

みんな一緒に通学路点検

佐山小学校「通学路点検」

佐山小学校で全校児童一斉下校での通学路点検が、4月9日に行われました。

前日に入学式を終えたばかりの1年生にとっては、初めての集団下校となりました。学校前の交差点では保護者や先生と一緒に、信号が赤から青に変わったこと、車が来ていないことなど、安全確認をしてから横断歩道を渡りました。

初々しいランドセル姿の1年生は、上級生の言葉をしっかり聞きながら、元気一杯で帰路につきました。1年生は歩いて登下校することに慣れるまで、まだまだ時間がかかります。ドライバーは十分気をつけてください。



▶横断歩道を渡る児童たち

元気なまちがど



DEAI KOKA

であいこうか

国際親善大会で大きく成長

小学生ソフトボール日本代表

久保 瑞希さん



小学生ソフトボールの日本代表として、滋賀県からただ1人選ばれ、3月に行われたオーストラリアでの国際親善試合に出場した久保さん。

世界のレベルと環境の違いを肌で経験し、一回り大きく成長した中学1年生にお話を伺いました。

国際親善大会の結果

大会には日本代表の2チームと、オーストラリアの5チームが参加し、私のチームは全勝で優勝することができました。

個人的にはヒットが何本か打てたし、投手として三振を奪うこともできました。外野の慣れないポジションも経験して、すごく自信になりました。

国際試合ならではの環境の違いもー

日本チームは小学生ですが、相手は2歳年上の中学生で体格も大きかったです。チームメイトも相手の選手もレベルが高くて…。

私の球速は最速でも76kmですが、大人みたいに90kmの速球を投げる投手もいました。それでも、コントロールでコースを狙い、三振を奪えたことがうれしかったです。

試合に使われたボールは、普段使っているゴム製ではなく革製で、マウンドからの距離も12mと、普段より2mも長かったので、最初はボールが届きませんでした。自宅の前にお父さんが作ってくれた特設の練習場で、試合に向けて毎日何球も投げ込んだ成果が発揮できてよかったです。

これからの目標は?

この春、鮎河小学校を卒業し、土山中学校でソフトボール部に入部しました。先輩たちに早く追いつき、1年生からレギュラーになれるよう頑張りたいです。

将来はソフトボールの選手になりたいと思っています。

